

実際の場面では—その⑤脱水

《明らかな脱水徴候》

- 以前から脱水傾向が見られたら、経口摂取の工夫とともに、必要時点滴の指示が出ている高齢者
- 薬剤を自宅にしている場合もある
- 判断後に点滴を開始する→その後の救急搬送を回避することが出来た

実際の場面ではーその⑥褥瘡

《褥瘡ケアについて》

- 褥瘡の予防には気を配るが訪問看護の依頼が褥瘡ができた段階で来ることが多い
- 褥瘡の深度、その要因、栄養状態などを判断し、そのケアに対しては看護の判断で工夫しながら、医師と連携を取る・ヘルパーとの連携を図るなどが実際的な動き
- 使用薬剤や、衛生材料などの関係で、診療医師とは密に連携している